



サッカー場整備事業
予算額・6億3660万円

吉田ふれあい広場東側にナイター照明4基を備えた多目的人工芝サッカーコート1面を新設します。



B & G 海洋センター移転改築事業
予算額・1億9959万円

既存施設を解体し駐車場を整備する予定です。今年の夏のオープンを目指し整備が進められています。



学校給食費保護者負担の軽減
予算額・9519万円

小学校は国の制度に月1500円を上乗せし保護者負担をゼロに。中学校は食材費上昇分を補助し、保護者負担を据え置きます。

令和8年度一般会計当初予算 483億5700万円 写真で見ると 注目予算

日本共産党 宮路敏裕

**業務負担軽減
図る人事構成を**



問 行政サービスの多様化により、職員の業務負担が過多になっていないか。また、業務の複雑化・高度化に対応する人材育成や継承が求められるが、正職員比率42・3%の現状をどう捉えているのか。

答 新たな行政課題や多様化する住民ニーズへの対応のため業務量は増加し、職員の負担も増している。正職員は令和8年度640人で、令和2年度と比べ22人増。部活動指導員や児童クラブの新設に伴う配置など、会計年度任用職員は134人増となり、結果として正職員比率が減少していると考えます。

問 職員採用環境は厳しさを増すと想定されるが、人材確保に向けた施策について伺う。

答 受験者数の減、内定辞退者増などの状況にある。民間企業からアドバイザーを受け入れ、働きやすさなど積極的に発信し、燕市への志望度を高め、職員確保につなげている。

新風みらい 田澤信行

**佐野新市長の
目指す燕市とは**



問 予算編成において重点を置いたことについて伺う。

答 新年度予算案は「みんなであつくる燕市」の理念のもと、「稼ぐ燕市・育てる燕市・燕はひとつ」を重点に新たなまちづくりへの「変化の兆し」が見えることを目指し、予算編成をした。また、市長が考える「稼ぐ燕市」とは、市内の主要産業である製造業や農業などをさらに活性化し、市全体の経済活動に活力をもたらすことを目指すものである。

問 移住促進策として、首都圏への情報発信力の強化について伺う。

答 市長のトップ営業として、首都圏での各種イベントを通して、いろいろな企業とコミュニケーションを図り連携強化につながるよう取り組んでいきたいと考えている。また、首都圏に在住している燕市PRサポーターに対して新しいガイドブックをつくり、さらなる活動につながるよう取り組んでいく。

公明党 近藤隆行

**物価高に負けない
持続的な予算を**



問 物価高の影響により、様々な資材の高騰や、公共施設の維持管理費、社会保障費、人件費など増加しているが予算や財政全体に与える影響がある。市の今後の対応を伺う。

答 様々な物価高の状況下で、市民サービスを維持していくため、事業の見直しや、市役所のデジタル化、公共施設の統廃合で支出を抑制し、ふるさと納税の取組の強化や、基金の運用などにより、自主財源の確保に努めていく。

高年齢者の安心・安全の暮らしを守る

問 高年齢者が住み慣れた地域で、より長く安心して暮らすことができるような地域共生社会の構築が必要と考えるが、市の認識を伺う。

答 医療や介護、住まい、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進を図り、地域共生社会の実現に向け、今後も取り組んでいく。

代表質問

「代表質問」とは、議会の会派代表者が市政に対する市長の姿勢を質するものです。焦点をはっきりとさせた代表質問を通して、市民の皆さんにも分かりやすい議会運営を目指します。

会派一覧はこちら





保護者や地域の要望により防犯カメラが設置され、子供たちの安全を見守っています



酒呑童子神社駐車場で行われた春の神イベントは大勢の参加者でにぎわいました



文化会館で行われた昨年の「燕市米寿をお祝いする会」



吉田地区で開催された「トコマルシェ」には多くの市民が訪れ、にぎわいました

暮らし 生活・まちづくり

吉田中心地におけるにぎわい創出

中心市街地再生モデル事業
5,000万円

問 どれほどのにぎわい創出を想定しているか。

答 年に数回朝市と同じ日にマルシェを開催している。令和9年度からは、毎月の開催を予定しており、年間大体800人程度のにぎわい創出を想定している。

放置森林の増加に伴う管理体制

森林経営管理事業（森林整備費）
769万円

問 実施エリア内の所有者の把握は終了しているか。

答 実施予定範囲の所有者は全員把握しており、事業実施の際には、事業説明を行う予定である。

新婚世帯の移住補助、別制度へ一本化

つばめ移住・定住促進事業
4,587万円

問 移住者住宅費補助金で新婚世帯を対象外にした理由は、類似制度による混乱を防ぐため、使途が広く補助上限額も高い「結婚新生活支援金」へ一本化した。国・県の補助により市の財政負担が軽減されることになる。

出張「ふれあいツアー」の想定は

広報広聴費
4,340万円

問 市長が自ら出向く「出張！ふれあいツアー」の対象や想定回数は。

答 市内在住・在勤等の5名以上の団体からの申込みに応じ、市長が直接出向いて事業説明や意見交換を行う。議会月等を除き、年5回程程度の開催を想定している。

高める 健康・福祉

日常生活で常時介護を必要人に

重度心身障がい者福祉事業
4,159万円

問 前年度より86万円程の減額の原因を伺う。

答 事業費の内容は、特別障がい者手当（3444万円）障がい児福祉手当（695万円）福祉手当（20万円）と3つの事業がある。一人一人へ支払う手当額は増加するものの、受給者の減少に伴い、全体として予算額が減少している。

段や段差、車椅子の方やトイレの誘導などで事故が起きないように注意を払っていききたい。

検診体制整備の充実

胃がん内視鏡検診事業
2,561万円

問 胃がん内視鏡検診は拡大しているが、その他はどうか。

答 医療機関で受けられるがん検診として、以前から子宮がん検診と乳がん検診を実施しており、女性検診や集団検診も今までどおり実施していく。

働く 産業・観光

ソウルフード支援は次の段階へ

燕ソウルフード観光プロモーション事業
142万円

問 燕背脂ラーメンシール祭りや、お土産品グランプリを新年度は実施しない理由を伺う。

答 燕背脂ラーメンシール祭りは3年間実施し、認知度の向上やお店の売上にある程度効果があったので一区切りとするが、今後もアピールしていく。お土産品グランプリについては、お土産の開発の支援を強化し、次回開催は今後検討する。

より充実したイベントの開催

道の駅「国上」運営費
1,850万円

問 誘客促進を図るためのイベント実施とあるが、より楽しく、面白いイベントについてどのように考えているか。

答 イベントの楽しさを面白さは、お客様の満足度に直結する重要な要素なので、イベント事にテーマを絞り、目的を明確化することで、今後も満足度の向上に努めていく。

学ぶ 子育て・教育

燕市立中学校の部活動はこう変わる

部活動の地域展開事業
3,757万円

問 中学校の部活動がある中、平日の活動は可能か。夜の活動はできるのか。

答 9月より平日の部活動の休止日を週2日間設定し、うち1日を未来いきいき地域クラブ活動可能日とする。夜は、これまでの学校開放で活動していた団体と重ならないよう、19時までの2時間以内としている。

児童等の安全対策

通学路等防犯カメラ設置事業
2,806万円

問 令和7年度は19台、令和8年度は48台と増の要因は。

答 子どもたちの見守りを強化するため増やす。設置場所は、保護者や地域の方が学校へ要望し、市と学校間で検討していく。



分水良寛史料館展示室



昭和54年建築の分水良寛史料館。老朽化等により、新たな史料館を道の駅SORAIRO国上の隣接地に整備するため、基本構想を策定します

磨く 輝く スポーツ・文化

新史料館の基本構想は先進地を視察

新分水良寛史料館基本構想策定事業

9886万円

問 基本構想の策定について詳しく伺う。

答 委員会の実証を3回行うことに伴う、委員の謝金、費用弁償など55万7000円、先進

地などの視察費用として33万5000円、昨年度から行っている基本構想の策定支援として、業務委託に900万円などとなっている。

支える 安らぐ その他

基金の運用方法と運用益「歳入」

基金残高

問 債券による基金運用の時期と利率は。

答 安全性の高い国債を中心に購入、4銘柄、計30億円購入し運用を開始した。債券による利子収入は、利率0.8%から1.3%で積算し、特別会計を含めて2335万円を予算計上。債券運用を行わない部分は定期預金で運用。予算額は利率0.225%で積算し、特別会計を含めて1023万6000円を予算計上した。

定員見直しで増えた交付税は「国保」

医療機関での個別健診の導入

(特定健康診査等事業費) 90万円

問 医療機関で受診できる「個別健診」導入について、想定される対象人数と協力機関数を伺う。

答 令和6年度実績の特定健診受診者は4321人で受診率が45.6%となっている。個別健診受診者は年間100人程度を想定している。現在燕市医師会を通じて県立吉田病院を含む11医療機関から協力いただける見込みである。

国民健康保険の一人当たりの想定基金

国民健康保険税 11億8350万円

問 国民健康保険特別会計の基金はいくらとなっているか。また基金の根拠としてはどういう算定をしているのか伺う。

答 年度当初の基金残高は6億5945万5千円となっている。基金保有額の目安としては一人当たりの保有額で約3万3500円を想定している。現在の被保険者数で換算すると4億3000万円ほどとなる。